

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和2年9月24日（木）

2 確認箇所

1～3号機原子炉建屋周囲（T. P. 8.5m盤）

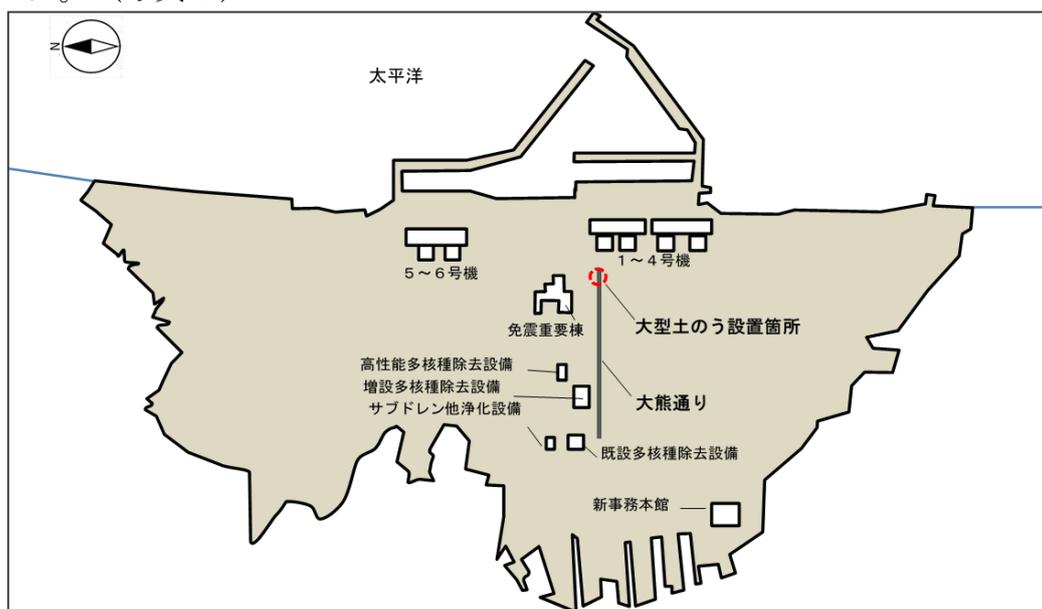
3 確認項目

台風12号の影響

4 確認結果の概要

台風12号が接近していたことから、構内を巡視しながら大雨や強風に対する準備状況を確認した。

- ・1～3号機原子炉建屋周囲ではクローラークレーンを用いた作業は実施されておらず、強風対策として、アンカーウエイト等を玉掛けし、巻き上げワイヤーロープを張る措置が講じられていた。（写真1）
- ・東京電力では、緊急的な豪雨リスク対策として、300～500mm程度の降雨が予想される場合には、地形的に雨水が集まると想定される大熊通り下端（図1）に大型土のうを設置し、1～4号機建屋方向への表流水の流入を抑制することとしているが、降水量が300mmを下回る予測であることから、大型土のうは設置されていなかった。なお、大型土のうについては、大熊通り下端の道路脇に仮置きされていた。（写真2）
- ・屋外に仮置きされている資機材は、ロープで固縛する措置が講じられていた。（写真3）



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
クローラクレーンの強風対策の例



(写真2)
大熊通り下端にあらかじめ仮置きされていた大型土のう



(写真3)
資機材のロープ固縛の例(1号機原子炉建屋北西側)

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。